

人材養成目的	7つのコースを通じて、幅広い教養とともに、進路に際した経済学の分野を系統的に学習する。 商都大阪の歴史ある教育環境の下、規範と責任をもって社会や地域の担い手となる独立自強・社会奉為の人材育成を目指す。																								
ディプロマポリシー	0. 幅広い教養と豊かな人間性の涵養 1. 経済学部では、次の4項目にわたる力を学び取り、所定の単位を修得した学生に学位(学士(経済学))を授与する。 (1) 独立自強の建学精神に則り、社会に貢献するキャリアに邁進できる。 (2) 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得し、駆使できる。 (3) 経済全般並びに商都大阪をはじめ、永く関わる社会事象に関する専門知識を吸収して、活用できる。 (4) 変化する社会経済に向けて、学識を基にした先駆的な提案を行い、実践する力を発揮できる。																								
科目区分(大分類)	共通教育科目	必修科目	選択必修科目										選択科目												
科目区分(中分類)			学部共通科目以外										発展科目群												
			歴史・くらし、社会科学各論			公共経済コース		金融経済コース		環境経済コース		消費経済コース		生活経済コース		多様社会コース		国際メディアコース		OE50特別プログラム		教員免許		グローバルキャリア科目	
4年次		EE10401 専門演習IV	EE20401 論文演習	EE30305 日本経済演習 EE30301 計量経済学	EE30306 労働法制の経済学 EE30302 応用ミクロ経済学	EE30303 経済実動論	EE30304 行動経済学		EE32301 ファイナンス演習	EE33301 地球環境論演習									EE39302 キャリアコミュニケーション(英) EE39301 キャリアコミュニケーション(英)						
3年次 または 3年次以上		EE10302 専門演習III EE10301 専門演習II																							
2年次 または 2年次以上	【フウンデーション科目群】 ■ 初年次科目 ■ 外国語科目 ■ 体育科目 【リベラルアーツ・サイエンス科目群】 ■ リベラルアーツ・サイエンス系科目 ■ 人文系系科目 ■ 社会科学系科目 ■ 自然科学系科目 【全体的学び科目群】 ■ キャリア形成系科目 ■ キャリア開発系科目	EE10202 専門演習I EE10201 コース演習	EE20202 マクロ経済学 EE20201 ミクロ経済学	EE30225 経済演習・経済史特講演習 EE30221 労働経済学I EE30217 国際経済学 EE30213 法学・政治学特講演習 EE30209 アジア経済論 EE30205 消費管理 EE30201 統計学演習	EE30226 外国経済特講演習 EE30222 労働経済学2 EE30218 オーストラリア経済論 EE30214 情報分析 EE30210 政治学入門 EE30206 国際経済 EE30202 ミクロ経済学演習	EE30227 人的資源特講演習 EE30223 システムと経済 EE30219 産業組織論 EE30211 政治学特講1 EE30207 日本経済 EE30203 マクロ経済学演習	EE30224 ビジネス・エコノミクス EE30220 産業組織論演習 EE30216 SDGsと経済 EE30212 政治学特講2 EE30208 地方財政 EE30204 企業会計原簿		EE32205 ファイナンス	EE33205 公共政策演習	EE34205 消費者保護論			EE36205 多様社会特講演習					EE39204 キャリアコミュニケーション(英) EE39201 キャリアコミュニケーション(英)						
1年次 または 1年次以上	※ 共通教育科目の科目・ナンバリング等は 共通教育科目カリキュラムマップ参照のこと	EE10101 初級演習	EE20105 マクロ経済学入門 EE20104 ミクロ経済学入門 EE20103 経済学入門 EE20102 統計学総論 EE20101 実践基礎経済学	EE30105 総論 EE30101 日本経済史 EE30102 グローバルヒストリー EE30103 地域とくらし EE30104 社会とくらし																					
卒業要件 (※)	28単位以上	12単位	10単位以上	48単位以上										68単位以上											
カリキュラムポリシー	日本語と外国語によるコミュニケーション能力、数的処理能力や情報リテラシー及び人と社会や自然との関わり方の理解、職能開発力を高めるための科目群を設ける。	ディプロマポリシーの学修要件を充足できるように、教育課程を次のとおり編成する。 1. 共通教育科目を初年次中心に28単位以上修得し、かつ、経済学部の学科科目を68単位以上修得して、合計で124単位以上修得することを課す。社会からの要請に応じて、授業科目以外の学習機会を広げ、ディプロマポリシーの実効性を確保するカリキュラムとなるように、継続的に取り組む。	2. 少人数の演習系科目として、1年次の「初級演習」、2年次の「コース演習」「専門演習I」、3年次の「専門演習II」「専門演習III」、4年次の「専門演習IV」の合計12単位を必修とする。	3. 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得できるように、学部共通科目を設け、そのうち10単位以上の修得を卒業要件とする。学部共通科目として、1年次に「実践基礎経済学」を、4年次に「論文演習」を提供する。	4. 専門知識を系統立てて吸収し、社会に向けて実践する力を発揮できるように、学部共通科目以外の選択必修科目を設ける。2年次には7つのコース分野に分かれて専門学習に集中できるように、コース毎の基幹的な選択必修科目を編修するカリキュラムとする。3年次、4年次には、専門的な学識を基に社会に向けて実践・応用することに主眼を置く選択必修科目を提供する。	5. 社会事象に関する専門知識を吸収して、積極的に活用できるように、競争選択型の選択必修科目(OE50特別プログラムと併修)を2年次、3年次に提供する。																			
アドミッションポリシー	(1)政治・経済・社会問題に対して知的好奇心と、自主的・積極的に問題解決に取り組もうとする強い意志 (2)豊かな想像力と人間性を身につけるために、経済学を中心に幅広い分野の学習を積極的に学び取れる思考力 (3)経済学に関する専門知識を基に、経済・産業界のリーダーとして活躍しようとする意欲																								

(※) 卒業要件単位数：124単位(共通教育科目：28単位以上、学科科目：68単位以上、残り28単位は自由選択)